

後期研修プログラム（卒後3年目以降：神経内科）

一般目標：神経内科専門医に必要な知識・経験・問題解決法の修得と記録の保存

- 1) 神経学的所見を自ら吟味し記載ができる。
- 2) 神経内科学会専門医のための履修要項に沿った研修と学習
- 3) 他科からの神経内科的コンサルテーションが受けられる。
- 4) 患者・家族に対して人道的・適切な説明・指導ができる。
- 5) 症例報告・疾患に関する総説が執筆できる。
- 6) 各種証明書の認定と記載ができる。

研修内容：神経内科学会の履修項目を網羅するための研修

1～2年目

- 1) 病棟医として入院患者の診断・検査・治療計画・治療の研修
- 2) 電気生理学的検査，Echasonography，MRI/MRA/CT 画像診断，脳血流/心筋シンチグラフィ，神経心理学的検査/QOL 尺度の実施と解析
- 3) 神経薬理学，神経生化学の学習
- 4) 神経・筋生検の実施

2～3年目

- 1) 病棟シニア研修医としてジュニア研修医を指導
- 2) 臨床研究の実施とまとめ，学会報告，症例報告，総説執筆
- 3) 神経心理，神経免疫，神経・筋病理，リハビリテーション，小児神経学の研修（他施設研修を含む。学年の人数と希望により選択）
- 4) 関連病院研修（脳血管障害が中心）
- 5) 内科認定医試験受験

4年目（目標到達度，希望を勘案する）

- 1) 病棟チーフレジデント
（入退院コントロール，診断・治療計画立案，病棟医指導）
- 2) 症例検討会，CPC の司会とまとめ
- 3) 外来診療研修
- 4) 臨床ないし基礎研究入門
- 5) 次年度専門医試験受験のための準備